

グラウンドワークとは・・・・・・・・

市民・企業・行政がパートナーシップをとりながら、地域の環境改善などを行う活動です。あなたもぜひ活動にご参加ください。  
(文中グラウンドワークをGWと表記することがあります。)

## NPO法人グラウンドワーク三島 15周年記念事業 協働による地球環境再生・国際シンポジウム



パワーポイントを使い、英国GW事業の説明をする、ロビン・ヘンショウ所長



「みどり野ふれあいの園」にて、  
紅白のハナミズキを記念植樹



「GW三島の15年の歩みと未来へのアプローチ」  
GW三島の参加団体代表等をパネリストに大討論会



英国GW、韓国ナショナルトラスト江華島バイカモ委員会からのゲスト、ESDの関係者とGW三島のスタッフ

### ～地域力・市民力を結集 NPOの役割と解決への処方箋～

1980年代に英国で誕生したGWが、1992年GW三島が日本で最初の実践モデル地区となった。以来、GW三島は「水の都・三島」の水辺環境の再生や改善事業に取り組む一方で、具体的な評価を得る多角的な事業も展開してきた。このように広範な関係者の参画を得て、GW三島は、2007年に15周年を迎えた。

そこで、15周年記念事業として、市民・NPO・行政・企業・専門家などが集まり、NPOの役割や解決への処方箋について考えるシンポジウムを開催した。(参加者155人)

### プログラム

第1日目：2月10日(土) みしまプラザホテル、

\*記念講演「協働による地域環境再生・国際シンポジウム」

英国GWオールダム&ロッチデール ロビン・ヘンショウ所長、

韓国ナショナルトラスト江華島バイカモ委員会 チェ・ジュンギ委員長

第2日目：2月11日(日) 日本大学国際関係学部(1512教室 1523教室)

\*分科会1「人間力・地域力を取り戻すためのNPOの役割」

\*分科会2「バイカモ国際サミット」

(関連記事 P.2 参照)



### リサイクル材で三島門前町屋台村を開設

2月4日(日)市内三石神社境内にリサイクル屋台を設置し、市内の竹材や間伐材を使用して作ったパズルやコースター、しゃもじなどを販売した。この取組みは、「第2回水辺の回遊緑陰づくりとリサイクル屋台による道の賑わい再生実験」(国土交通省社会実験)として実施された。



### 「せせらぎシニア元気工房」に軽トラック

3月13日(火)静岡新聞社・静岡放送社会福祉事業第44回「愛の都市訪問 福祉支援活動」から、活動に必要な物資として軽トラック車両1台がGW三島に寄贈された。「せせらぎシニア元気工房」で資材の運搬などに活躍する。

写真は、左から「せせらぎシニア元気工房」の中野正勇さんと安室弘治さん。



### 山の虫調査隊第1回飼育講座

5月5日(土)「カブトムシ・クワガタムシの世界」を開催した。参加費は無料で、約70名の親子が、沼津市で昆虫標本ギャラリーを開く渡辺隆司講師(写真左)から昆虫についての説明と飼育の仕方を学んだ。

この事業は、イオン環境財団の助成を受け、今秋にはシニア世代と子供たちが交流する「森の昆虫博物館」の建設などを予定している。



## 2007年2月10日(土)第1日 シンポジウム

### 「協働による地域環境再生・記念講演・国際シンポジウム」

英国と韓国からのゲストによる記念講演が行われた。15年前、三島ヘグラウンドワーク実現可能性調査に訪れた英国GWのロビン・ヘンショウ所長は、トラストの活動紹介とともに、GW三島と英国GWの交流についての紹介をした。韓国ナショナルトラスト江華島パイカモ委員会のチェ・ジュンギ委員長が、韓国ナショナルトラストの活動や、江華島でのパイカモ保全の取組みについて説明した。

大討論会「GW三島の15年の歩みと未来へのアプローチ」GW三島の参加団体代表等15名をパネリストとした討論会を開催した。

各団体の情報交換が活発に交わされ、今後に向けた新たな発想が生まれる機会となった。多くの市民団体が、三島をよくしようと集い活動に取り組む姿は、海外のゲストにとって新鮮であり、国内の多くの参加者は三島の市民力を感じたようだ。



## 英国GW研修生3人の三島体験

ホームステイ、記念植樹、茶道体験など

GW三島が招いた英国の研修生3人は、「国際シンポジウム」初日から参加する予定だったが、経由地のアムステルダム空港で時ならぬ大雪に見舞われ、1日遅れの日本到着だった。夜の行事に間に合い、全国からの参加者たちとの情報交換を楽しんだ。3人は就職前の体験学習として英国GWで研修生として働いているのだった。

次の日、「みどり野ふれあいの園」でハナミズキを記念植樹した後、三島南高校を訪れ、環境問題をテーマにお互いにプレゼンテーションを行った。南高生によるかつての四日市喘息などの公害病についての発表は、英国人にとって大変印象深いものようだった。さらに、これからの持続可能な社会構築のために取り組んでいる具体策について発表もあった。

その後、茶道を体験し、部活動を見学した。特に日本武道である弓道、柔道、剣道には関心を示した。ホームステイ先では、3人とも日本文化に対する好奇心が旺盛で、異文化に積極的にチャレンジした。2泊3日の滞在中、日本食、温泉、着物、琴などを楽しんだ。



ホストファミリーの山田勝造・水野幾子・小野宏美さんと共に



左から、  
アンドリュー・フェアバーンさん  
ヒラリー・パーマーさん  
ケイト・フラーさん

## ESDとは? (Education for Sustainable Development 略)

「国連提唱の持続可能な開発のための教育」。私たちが、持続可能な社会の実現を目指し、世界の人人や将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、よりよい社会づくりに参画するための力を育む教育である。すでにESDへの取組みは、日英GWで始められており、今回のシンポジウムで両国代表者からその内容について発表があった。どちらもESDに対する国民の意識改革を最重要課題として掲げ、地域における実践活動をベースに環境教育の徹底を図り、環境、経済、社会を3本柱に、バランスの取れた社会作りのための様々な取組みについて語った。

## 「パイカモ国際サミット」

2月11日(日)GW三島の呼びかけで、パイカモに関する国際サミットが三島市の日本大学国際関係学部を会場に開催された。平成16年5月には、GW三島の主催で、「韓国・パイカモの里を訪ねる市民交流ツアー」が企画され、GW三島のメンバーや大学教授など20名が江華島パイカモの里を見学、「韓国ナショナルトラスト江華島パイカモ委員会」との市民交流などパイカモでの日韓の交流はすでになされていた。

この度のサミットでは、パイカモ保護に取り組む韓国ナショナルトラストや、日本国内で積極的にパイカモの保護運動を推進している山形、福井、兵庫、GW三島の関係者が、市民団体の役割や課題、問題解決の足がかりなどを話し合い、パイカモを次世代に確実に引き継ぐための市民活動推進を誓い、パイカモ保全の国際ネットワークの設立を宣言した。(以下4項目)

- パイカモの大切さや貴重性を多くの人々に伝える努力
- パイカモの保全を通じた地域振興や環境教育の強化
- パイカモの保全を通じた生態系や伝統文化の保全
- パイカモの相互の情報交換

## 韓国研究者ら視察

韓国建国大と東京農工大の研究者や学生らが3月29日(木)三島市を訪れGW三島の活動現場を視察し、市民、企業、行政の協働で進められている環境保全などの活動に理解を深めた。

両大は姉妹関係にあり、東京農工大OBで同大講師でもあるGW三島渡辺豊博事務局長の案内で源兵衛川や三島梅花藻の里、境川・清住緑地、中郷温水池などを見学し、水と共生する街三島の住民意識やシステムなどを学んだ。



## 松毛川(まつけがわ)子ども環境探検隊 ~

第3回の3月10日(日)、松毛川の川沿いを、参加者35名が4つのグループに分かれて、どのようなゴミが捨てられているのかを調査した。ペットボトルや空き缶などの家庭ゴミのほか、タイヤや便器などの大型ゴミまで、およそゴミ袋40個にもなり、その種類と量の多さに参加者は驚いていた。調査後、御園公民館に移動し、島崎禮次講師の指導のもと、ゴミマップをつくった。ゴミをポストイットで色別に分けて、どこにどんなゴミが捨てられているかひと目で分かると、「ゴミを捨てる経験が大切に思え、捨てない気持ちが出てきます」と参加者は感想をのべていた。指導者も「子どもたちがゴミを嫌がらずに一生懸命拾っていたので感心した。マップは町内の方にもぜひ、見ていただきたい」と話した。

4月15日(日)、「春の植物を調べよう」と題し、第4回講座を開催した。菅原久夫講師から、植物の移り変わりを聞いたり、ハルジオンやタンポポをルーペで観察した。4月29日(日)の第5回講座は「緑をふやそう! ワンデイチャレンジ」山口康裕講師を迎え、参加した親子や町内の人は、ムクノキやハンノキなどの植樹場所を検討した。

今後、7月22日(日)のまとめ講座までに3回の講座が予定されている。



第4回講座 タンポポ観察



第5回講座 ムクノキ植樹候補地



みずかみ  
「水上プロムナード」  
なかがわ かずお  
中川 和郎 著

昭和五十年（一九七五）、「三島市民サロン」（後述する）の会報に、村上信吾が「美しい街づくりへの提言」と題して、大略次のように綴った。

「緑と水と太陽」は、三島の街づくりの永遠のテーマである。水のない、汚れた川の三島はまことに悲しい。せめて三島の街の一角に「水の三島」を人工的に演出できないだろうか。水泉園（白滝公園）から大社前までの水上通りを美観地区に指定。歩道上の電柱を地下に、歩道を石畳にし、その一枚々々を市民の浄財で賄う。寄贈者の名前を記すのも一案。川に流れ込む汚水は排水路を作って分流させ、東レの冷却水を桜川に注ぎ込む。かくて水の散歩道《水上通り》を三島の名所とする。そして、市とも提携し誕生したのが、五所平之助監督を議長とした「水上プロムナード委員会」である。

その後、道路の整備等も進み、三島ライオンズクラブ創立三十周年記念事業として、「三島水辺の文学碑」の設置（平成六年）へ

とつながっていく。その企画を推進し、実現させたのは川村博一。更に三島商工会議所の工業青年クラブの尽力によって、白滝公園の一角に「めぐみの子」が設置される。

昭和六十年（一九八五）、三島青年会議所は、「めぐみの子」を誕生させた小野徹（小野建設株）を理事長に迎え、川村博一を委員長に、「地方都市三島に未来はあるか 歴史からの警鐘」と題し、「デザイン三島 21シンポジウム」を開催。県市町の後援、ほか三島青年会議所協賛を得て司馬遼太郎、大岡信、高橋裕氏等を招き司馬氏の講演、パネルディスカッション「繁栄する都市、衰退する都市」を盛大に展開した。

その時、司馬氏は川村の「三島の構図」二冊を読み、その感慨を「裾野の水 三島一泊二日の記」として、小説新潮（昭和六十一年）二月号に掲載。三島の歴史と、その風土自体を、川村博一にふれながら、鮮やかに温かく書き残している。

（敬称略）

### 湧水調査から湧水マップ改訂版へ

昨年度、養成講座が修了した富士山湧水インストラクター約 30 名が、富士山周辺の湧水調査を始めた。GW三島の島崎禮次スタッフを中心となって調査計画をたて、湧水のいわれ、生物情報、流量、水量、水量変化、水利施設などの情報を集めている。グループは、三島（三島市）・南麓（沼津市、清水町、長泉町）・西麓（富士市、富士宮市）・東麓（裾野市、御殿場市、小山町）の各地区で活動している。これらの情報を元に、三島ゆうすい会と協力して「湧水マップ改訂版」作成などを進めている。今後は富士山周辺のマップづくり、子供たちを対象に湧水探検隊の結成をする予定。



## Smile スマイル

### こだわりの蕎麦(そば)作りにかける

やすむる こうじ  
安室 弘治さん

東京で生まれ育った安室さんが、仕事（冷暖房電気工事）の関係で清水町に移転し、しかも独立で店舗を構えはや 35 年。60 歳を過ぎた現在では、本職のかたわら空いた時間のほとんどを蕎麦づくりを中心に「せせらぎシニア元氣工房」に通っている。これもひとえに連れそう奥さんの理解があつてのことと感謝しているそうだ。



GW三島との関わりは、3 年前に GW三島が主催して行った蕎麦教室に、生徒として参加したことから始まった。それまでも友人の父が作ってくれた蕎麦のおいしさから興味を持ち、15 年前には蕎麦打ちの道具を揃え、1 年に数回は蕎麦作りを行っていた。本格的に取り組んでみたいと思って参加した教室の中で、先生より上手い練り方や包丁捌きを披露。その腕を見込まれ、GW三島が市街地活性化の一環としてスタートした蕎麦教室の指導講師となった。

この 2 年半の間に延べ 42 回の蕎麦教室を開講、約 140 人の生徒を育てている。Via701 で開講している各種教室の中で最も人気を得ており、生徒の評判はすこぶる良い。蕎麦教室を引き受けるに当たっては、沼津にある教室に通い、生徒への教え方を含め、本格的な蕎麦作りを改めて研修し臨んだ。また、教室の中では、蕎麦打ちから始まり、茹で方、つゆ作りとおいしい食べ方の指導まで行っており、他の蕎麦教室にはない工夫（こだわり）がある。一方では、「蕎麦作り隊」の仲間と共に、本年は 200 kg の収穫量を目指し「三島蕎麦」の栽培に努力しているところである。もともと、「富士山の見える所に住みたかった」と語り「元氣な内に好きなことをやりたいから」と続けた安室さん。それで、人に喜ばれたら、幸せですね。

### 水の守人（もりゆうど） 森の木こり講座

湧水復活大作戦、間伐体験・森の小さなダム作り第 2 弾として「水の守人 森の木こり講座」が開かれた。3 月 25 日（日）、33 名の参加者が箱根西麓の森林（沢地付近）で間伐作業に取り組んだ。間伐丸太を山の谷部分に積み重ねる「森の小さなダムづくり」にも汗を流し、放置森林の保水能力の向上と仕組みづくりに挑戦した。

その後、せせらぎシニア元氣工房で間伐材を使っての簡単な工作を楽しんだ。広川敏雄さんは、「子供たちが自然と触れ合っ環境のことを考えてくれるようになってくれたら嬉しいです」と語った。



青木奈々さん

4 月より GW三島のスタッフとなりました。主に海外事業を担当しております。今年は海外のアンコールワット（カンボジア）とマウントレーニア国立公園（アメリカ）にバイオトイレを設置するという大掛かりな計画に戸惑っています。毎日奮闘した日々を送っていますが、充実したやりがいのある仕事を担当することができ、嬉しく思っております。先月三島に越してきたばかりなので、これからゆっくり三島の街を散策しながら三島の良さを見つけていきます。



日野美奈子さん

出身は函南町で、半年前から伊豆の国市在住です。5 月より GW三島のスタッフとなりました。趣味は旅行（印象的だったのは、オーロラ鑑賞、モンゴル植林、青年の船で韓国）です。三島は身近な街でしたが、まだ私の知らない良さがたくさんあると感じています。主に環境教育等を担当し、イベントでは子供から大人まで、多くの方々と関わることができ、やりがいを感じております。今は毎日とにかく必死で、時間の流れがとても早く充実した日々を送っております。



# GW三島活動記録 2007年2月1日-2007年5月31日

月	日	曜日	時間	事業名	内容	場所	人数
2	2	金	19:00~	窪の湧水	ワークショップ	特種製紙tプラザ	12
2	3	土	12:00~16:00	国土交通省社会実験	エコ周遊カーの運行とアンケート調査	三嶋大社前出発	71
			10:00~12:00	鏡池作業	定例作業	鏡池ミニ公園	8
			10:00~15:00	三島うみやあもん屋台	屋台販売会	三石神社境内	100
2	4	日	12:00~19:00	国土交通省社会実験	エコ周遊カーの運行とアンケート調査	Via701前出発	106
			17:30~20:00	国土交通省社会実験	宮さんの川竹あかり	宮さんの川上流部	80
2	5	月	12:00~17:00	国土交通省社会実験	エコ周遊カーの運行とアンケート調査	Via701前出発	88
			10:00~12:30	GW三島15周年記念シンポジウム	活動現場視察会	三島駅北口集合	54
2	10	土	13:00~17:00	GW三島15周年記念シンポジウム	記念講演・大討論会	みしまプラザホテル	125
			18:00~20:00	GW三島15周年記念シンポジウム	情報交換会	みしまプラザホテル	75
2	11	日	10:00~15:00	GW三島15周年記念シンポジウム	分科会1・2、総括	日本大学国際関係学部	90
2	14	水	13:30~16:00	山岳トレイル実証試験	第4回技術実証委員会	Via701	12
2	17	土	10:00~12:00	境川・清住緑地	定例作業、田天地返し	境川・清住緑地	16
2	20	火	18:00~19:30	富士山湧水インストラクター	調査に関する打ち合わせ	Via701	27
2	23	金	19:30~	スタッフ会議		Via701バックヤード	12
2	26	月	19:00~21:00	富士山湧水インストラクター	湧水調査打ち合わせ会議(西麓)	Via701バックヤード	5
2	28	水	18:00~19:00	富士山湧水インストラクター	湧水調査打ち合わせ会議(東麓)	市民活動センター会議室	10
3	1	木	11:00~12:00	富士山湧水インストラクター	富士山湧水水质調査実地研修	三島梅花藻の里	17
			10:00~12:00	鏡池作業	定例作業	鏡池ミニ公園	4
3	3	土	13:30~15:00	富士山湧水インストラクター	富士山湧水水质調査実地研修	三島梅花藻の里	20
			15:00~16:00	富士山湧水インストラクター	湧水調査打ち合わせ会議(南麓)	市民活動センター会議室	8
			9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(三島グループ)	三島市内	10
3	4	日	9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(東麓グループ)	裾野市近辺	5
			10:00~14:00	国土交通省社会実験	三島門前屋台村	Via701エントランス	80
3	5	月	13:30~16:00	山岳トレイル実証試験	第5回技術実証委員会	Via701	9
3	7	水	9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(西麓グループ)	富士市・富士宮市	4
3	10	土	9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(東麓グループ)	裾野市近辺	9
			9:00~	三島梅花藻の里	定例作業	三島梅花藻の里	6
3	11	日	13:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(三島グループ)	三島市内	9
3	14	水	9:30~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(西麓グループ)	富士宮市	3
3	17	土	10:00~12:00	境川・清住緑地	定例作業	境川・清住緑地	18
3	18	日	9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(東麓グループ)	御殿場市	8
			13:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(三島グループ)	三島市内	8
3	24	土	18:00~	富士山湧水インストラクター	打ち合わせ会議(三島グループ)	三島市民活動センター	9
			13:00~16:00	第2回森のきこり講座	間伐体験、森の小さなダム作り、木工工作	ゲラウドワークの森、悠遊工房ひろかわ	33
3	25	日	9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(南麓グループ)	沼津市	5
			13:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(三島グループ)	三島市内	5
3	26	月	9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(西麓グループ)	富士市	6
			19:30~	スタッフ会議		Via701 バックヤード	10
3	27	火	9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査グループリーダー打ち合わせ	Via701 バックヤード	7
3	31	土	午後	富士山湧水インストラクター	フォローアップ研修	Via701	30
4	1	日	13:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(三島グループ)	三島市内	5
4	8	日	13:00~	源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	6
4	9	月	9:00~	富士山湧水インストラクター	湧水調査(西麓グループ)	富士市内	5
4	14	土	10:00~12:00	三島梅花藻の里	苗代づくり、種まき、整備作業	三島梅花藻の里	8
4	22	日	10:00~	視察研修	早稲田大学NPO実践論	三島市内、Via701午後	47
			8:00~17:00	富士山湧水インストラクター	春の富士山を体感しようツアー	青木ヶ原、西白塚	20
4	25	水	18:30~	みしま街づくり欄打合せ	ホールの運営について	Via701	2
			19:30~	スタッフ会議		Via701	8
4	26	木	19:00~	長伏小ピオトープ	ピオトープ改修委員会	長伏小学校	3
4	27	金	11:00~	せせらぎシニア元気工房	情報交換会	悠遊工房ひろかわ	8
			15:30~	山岳トレイル実証試験	第1回技術実証委員会	Via701	10
4	29	日	10:00~12:00	松毛川子ども環境探検隊	緑をふやそう! ワンデイチャレンジ	松毛川	36
			10:00~16:00	山の虫調査隊	カブトムシ・クワガタムシの世界・飼育講座	Via701	60
5	5	土	10:00~12:00	鏡池	定例作業	鏡池ミニ公園	6
			9:30~12:00	そばつくり隊	畑の草刈、耕うん	三ツ谷そば畑	7
5	13	日		ホテル初観祭	源兵衛川にて		
5	17	木	8:00~	富士山湧水インストラクター	パイカモ先進地視察	醒ヶ井(滋賀)・青垣(兵庫)	5
5	18	金	~19:00	富士山湧水インストラクター	パイカモ先進地視察	醒ヶ井(滋賀)・青垣(兵庫)	5
5	19	土	10:00~12:00	境川・清住緑地	畦ぬり、代かき、苗取り・整備作業	境川・清住緑地	10
5	21	月	19:30~	スタッフ会議		Via701	13
5	26	土	10:00~12:00	松毛川子ども環境探検隊	色々な虫を探してみよう	長伏公園北駐車場集合	22
			7:20~17:00	インストラクターフォローアップ研修	青木ヶ原樹海エコツアー、ゴミ拾い	青木ヶ原樹海、精進湖	45
5	27	日	10:00~12:00	腰切不動尊	腰切不動尊大工	腰切不動尊	100

## バイリンガル環境かるた 第3改訂版好評発売中

GW三島参加団体グローバル文化交流協会発行の「バイリンガル環境かるた」第3改訂版が好評発売中である。かるた遊びをしながら環境問題を考えたり英語を学んだりすることができ、さまざまな国の人の参加で国際交流も広がる。

お問合せ先：  
055-986-1524 (TEL・FAX 共通)  
055-988-1633 (TEL・FAX 共通)  
販売価格(送料別)  
1セット 1,800円



## 窪の湧水生き物 観察ガイド 完成!

長泉町竹原地区の「窪の湧水(別名小僧池・富士湧水池)」は、標高約20mの段丘崖の下部から湧き出す湧水で、その段丘崖には、はるか昔の自然植生をしのぶ貴重な照葉樹林が残っている。

地域の貴重な湧水池として、また自然とふれあう場として愛されてきた「窪の湧水」を、特種製紙株式会社、関係町内会、長泉はたるの会、竹原区ホテルの会、NPO法人GW三島等が協働し、斜面の安全性に配慮しながら、ホテル等の生き物のすみかに適した整備を進めている。



## 視察に訪れたみなさん H19.2-H19.5

## GW三島 平成19年度通常総会のお知らせ

月	日	団体名	人数	住所
2	10	15周年記念事業・現地視察	53	全国
2	20	明治用水土地改良区	90	愛知県
2	26	三宅地区自治会連合会	40	埼玉県
3	6	春野気田川環境保全協議会	16	静岡県
3	19	藤沢市消費生活課	16	神奈川県
3	24	小櫃振興会	16	千葉県
3	29	建国大学(韓国)・東京農工大学	7	韓国
4	3	太陽コンサルタンツ株式会社	7	東京都
4	22	ふじのみや市民環境会議	8	静岡県
4	22	早稲田大学NPO実践論	47	東京都
5	18	米国マウンテンエア国立公園	1	アメリカ合衆国
5	25	韓国農村公社・東京農工大学	29	韓国

日時 2007年6月10日(日)  
会場 Via701 1階ホール  
通常総会 14:00~15:00  
議案(1)平成18年度事業報告及び決算報告承認の件  
(2)平成19年度事業計画及び収支予算決定の件  
(3)その他  
情報交換会 15:20~18:00  
基調講演  
『グラウンドワークによる地域再生の理論と実践』  
活動報告  
『グラウンドワーク三島の多様な主体による活動報告』  
交流会 18:20~20:30

## グラウンドワーク三島 ボランティアニュース33号編集室 (GW三島事務局)

川崎徳子 岸野和子 城所祖帝 小松幸子 斎藤彩子 坂井良重 水野幾子 山崎多紀子(50音順)